

# 第2回常若講座

## 古事記を読む 其の1

### 国生み①

令和7年1月26日(日)

●若宮八幡社を遥拝

### 《常若講座》

#### 講座① 神社検定問題集(三級)から問題

神宮(伊勢神宮の正式名)は、ほかの神社とは一線を画す唯一無二の存在です。  
主祭神は皇室の祖先神で、日本国民の総氏神ですが、その主祭神はどなたでしょうか？

- 1, 天之御中主神(あめのみなかぬしのかみ)
- 2, 月読命(つくよみのみこと)
- 3, 天照大御神(あまてらすおおみかみ)
- 4, 伊邪那美神(いざなみのかみ)

◆正解は………です

#### 講座② これからの式年遷宮(金座と米座・マップ参照) 笹(柵) ……………

金座(第62回) ……波乱・激動が多い「経済の時代」

米座(第63回) ……平和で豊かな「精神の時代」と言われています

○令和6年4月8日 第63回神宮式年遷宮の「御聴許」

○令和6年11月 神宮式年遷宮準備委員会が発足

○令和7年1月1日 神宮式年遷宮造営庁が設置された

▼令和7年5月 山口祭(やまぐちさい)・木本祭(このもとさい)

▼令和7年6月 御杣始祭(みそまはじめ)・御樋代木奉曳式(みひしろぎ)

▼令和7年9月 御船代祭(みふなしろさい)

#### 講座③ 古事記を読む 其の1【国生み①】

※古事記とは……………？

和銅5年(西暦712年)に編纂された日本最古の歴史書

全3巻から成り立つ

○上巻(神様のご事績) →常若講座で勉強します

○中巻(初代:神武天皇 ~ 第15代:応神天皇)

○下巻(第16代:仁徳天皇 ~ 第33代:推古天皇)

稗田阿礼が暗唱し、太安万侶が編纂した



# 第2回常若講座 資料

## 今日の短歌

【明治天皇御製】四海兄弟（明治三十七年〈一九〇四年〉御年五十三歳）

よも うみ みな おも よ  
四方の海 皆はらから（ ）と思ふ世に

なみかぜ た さわ  
など波風の立ち騒ぐらむ

日本を取り囲む世界の国々も、みな兄弟と思っているこの世であるのに、どうして波風が立ち騒いで、このような戦争に至るのであろうか。

この御製は、明治三十七年日露戦争の開戦直後の作。我が国を巡る国々との和平を常に願われていた明治天皇にとつては、ロシア王室との厚誼もあり、無念の開戦であった。

### 講座③ 古事記を読む 其の一【国生み ①】

あめつち はじめ くらげ  
天地の初発の段【別名…天地開闢(てんちかいはく)】

あめつち はじめ たかまのはら な みな あめの  
天地の初発の時、高天原に成りませる神の名は、①天之  
みなかぬしのかみ たかみむすひのかみ かみむすひのかみ  
御中主神、次に②高御産巢日神、次に③神産巢日神。此の  
みはしら みなひとりがみな ま み かく  
三柱の神は、並独神成り坐して、身を隠したまひき。

- ◆高天原……天照大御神を主宰神とした天津神がお住まいになる天上界
- ◆独神……夫婦の組としてではなく単独で成った神様
- ◆造化三神…天地開闢された最初の三柱の神様

くにわか うきあぶら ごと くらげ ただよ あしかび ごと  
次に國稚く浮脂の如くして、海月なす漂へる時に、葦牙の如  
も あ よ な みな うましあしか  
萌え騰がる物に因りて、成りませる神の名は、宇摩志阿斯訶  
びひこちのかみ あめのとこたちのかみ ふたはしら ひとりがみな ま  
備比古遲神、次に天之常立神。此の二柱の神も独神成り坐  
み かく  
して、身を隠したまひき。

- ◆國稚く……国土と言えないように柔らかくて
- ◆葦牙……葦が大地を突き抜きて萌え出るように生命の根源を感じる
- ◆別天つ神…天地開闢の初めに高天原に現れた別格の五柱の神々

次に成りませる神の名は、な国之常立神、みな次に豊雲野神。くにのどこたちのかみ此のとよくもぬのかみ

二柱の神も独神成り坐して、ひとりがみな身を隠したまひき。まみかく

次に成りませる神の名は、な宇比地邇神、みな次に妹須比智邇神、うひぢにのかみ此のいもすひぢにのかみ

次に角杵神、つぬぐひのかみ次に妹活杵神、いもいくぐひのかみ次に意富斗能地神、おほとのぢのかみ次に妹大斗いもおほと

乃弁神、のべのかみ次に於母陀流神、おもだるのかみ次に妹阿夜訶志古泥神、いもあやかしこねのかみ次に伊邪いざ

那岐神、なぎのかみ次に妹伊邪那美神。いもいざなみのかみ

上の件、かみ国之常立神より以下、くだり伊邪那美神以前、くにのどこたちのかみ伊邪那美神しもいざなみのかみまで

併せて神世七代と白す。あわかみよななよまを

(神の二柱は、ひとりがみおのくひとよ独神各一代と白す。次になら双び坐す十柱は、ま各二神を合とはしらわせて一代と白す)おのくふたはしらひとよまを

- ❖ 妹……………現在の妹とは違う      ▲ 妹背(いもせ)の契り↓ 夫婦の仲
- ❖ 二神を合わせて…二柱の神々を以て「一代(ひとよ)」としている
- ❖ 神世七代…前記する「別天つ神」以降の神々
- ❖ 白す……………申し上げるの意      ▲ 告白・白状・独白・明白・白妙・潔白